



古今

からひくはちのぞりてりたつた

ぞりかこのやうなつた

河原元大臣源融寛平七年月薨七十三於在中將非幾先達如何

わびとらふ

わびとらふ

わびとらふ

わびとらふ

わびとらふ

わびとらふ

わびとらふ

わびとらふ

わびとらふ

古今

二ある男のわらわら

わらわら

わらわら

わらわら

二条のわらわら

わらわら

四 ちのわらわら

わらわら

わらわら

わらわら

わらわら

わらわら

わらわら

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

一 萬部一 萬部一 萬部一

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of dense cursive script.

Small handwritten mark or symbol at the top left of the page.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of dense cursive script.

Small handwritten mark or symbol at the top left of the page.

夕のそなたがやう

古今

みづめあまのこころをよみしる

小所

つゆらぎあまのこころのたゆみ

ひつらあまのこころのたゆみ

くらとくしるがく人のあま

ねもやえぞねよみよのこころ

のりこしるがく人のあま

ひつらあまのこころのたゆみ

つゆらぎあまのこころのたゆみ

らわらぎあまのこころのたゆみ

つゆらぎあまのこころのたゆみ

とおのこころのたゆみ

とよしとくしるがく人のあま

あまのこころのたゆみ

水のたゆみ

あまのこころのたゆみ

あまのこころのたゆみ

水のたゆみ

夏観十一年二月夏明親王為皇太子持高子為女御依春宮母号

九月

ひつらあまのこころのたゆみ

あまのこころのたゆみ

新古今

あまのこころのたゆみ

ひつらあまのこころのたゆみ

十月

あはれすもそのとらわたりかえして
しるはるるのちしるるらん

一冊
むしうまのうらまをくわひきりかむがひま
強きつりたるよもむきおひいふるひくちを
あはれふなるらんあがみんとむし男

此らもむし男をうけりてりたれま
そのうらまをむし男にたたり

としむむし男のあつた

三冊
むしうまのうらまをくわひきりかむがひま

古今

作者

むしうまのうらまをくわひきりかむがひま
としむむし男のあつた

三冊

青男流のくにむしうまのうらまをくわひきりかむがひま

上

下

色

あはれすもそのとらわたりかえして

四冊
むしうまのうらまをくわひきりかむがひま

あはれすもそのとらわたりかえして

あはれすもそのとらわたりかえして

あはれすもそのとらわたりかえして

あはれすもそのとらわたりかえして

三冊

六世

玉のちくちんとよなりし〜むい入をさ
 たる〜くのほもあらんとぞゆゆ
 昔のしほなるあらし〜むい〜たる女のゆいよ
 若せむ〜さねま〜りくお玉う〜
 た〜んと人よあらし〜る〜
 七世
 む〜お〜こ。あ〜まのこ〜なり〜る。女よ。あ〜
 かり。う〜らめ〜〜や〜のひ〜かん
 我る〜て〜下〜級〜く〜お〜お〜は〜ち
 申あ〜け〜ま〜ぬ〜花よ〜あ〜と〜も
 八世
 かし〜〜〜〜〜結〜ひ〜〜む〜の〜ぬ〜ひ〜り〜し〜て
 あ〜ひ〜る〜ま〜〜〜〜〜と〜ぞ〜ね〜ゆ

八世

ま〜〜〜〜〜の〜ひ〜り〜し〜む〜の〜ぬ〜ひ〜り〜し〜て
 とう〜〜〜〜〜ま〜〜〜〜〜と〜ぞ〜ね〜ゆ
 人〜い〜れ〜ゆ〜わ〜〜ひ〜り〜し〜て
 也

九世

海和天皇
 昔の西院の〜む〜ひ〜り〜し〜む〜の〜ぬ〜ひ〜り〜し〜て
 皇太子内親王
 母掃 豊子 正而
 み〜〜〜〜〜し〜〜〜〜〜と〜ぞ〜ね〜ゆ
 〆〜〜〜〜〜の〜ひ〜り〜し〜む〜の〜ぬ〜ひ〜り〜し〜て
 〆〜〜〜〜〜車よ〜あ〜ひ〜り〜し〜む〜の〜ぬ〜ひ〜り〜し〜て
 〆〜〜〜〜〜の〜ひ〜り〜し〜む〜の〜ぬ〜ひ〜り〜し〜て

Handwritten text in a cursive script, likely Persian or Urdu, filling the right page of the manuscript. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines, starting from the top right and moving towards the bottom left. A red circle is visible at the beginning of the final line.

Handwritten text in a cursive script, likely Persian or Urdu, filling the left page of the manuscript. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines, starting from the top left and moving towards the bottom right. A red circle is visible at the beginning of the final line.

のりうしつがりしはまふありたりけり

賀陽親三桓武登之 命成三品治元貞壽二十三年十月八日薨之

あるかものみかしのさふんこつりはなかり。まみかあど
かしめたるがらひのむかひのうたなひたりとみる。あ
らうへきとかりと我のこころかたると又人なつしき
又りの熟るがごとくくまへ

古今

のほろつたはなはくしのむかひのむかひ
のほろつたはなはくしのむかひのむかひ

のりうしつがりしはまふありたりけり

かこのたりしはなはくしのむかひのむかひ
のほろつたはなはくしのむかひのむかひ

のりうしつがりしはまふありたりけり

のほろつたはなはくしのむかひのむかひ

のりうしつがりしはまふありたりけり

のほろつたはなはくしのむかひのむかひ

のほろつたはなはくしのむかひのむかひ

のほろつたはなはくしのむかひのむかひ

のほろつたはなはくしのむかひのむかひ

のほろつたはなはくしのむかひのむかひ

のほろつたはなはくしのむかひのむかひ

のほろつたはなはくしのむかひのむかひ

のほろつたはなはくしのむかひのむかひ

のほろつたはなはくしのむかひのむかひ

のほろつたはなはくしのむかひのむかひ

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise, written in a cursive style. The text is arranged in several lines, starting from the right side of the page and moving towards the left. The ink is dark and the script is fluid.

Handwritten text in Arabic script, possibly a signature or a specific section of the text, located in the lower right quadrant of the page. It consists of several lines of cursive writing.



The left page of the manuscript is mostly blank, showing significant signs of age and wear. There are numerous brown and blue stains, particularly along the left edge and in the lower half, which appear to be water damage or mold. The paper is yellowed and textured.

